

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表(公表)

公表： 令和4年3月30日

事業所名 水戸市重症心身障害児(者)通園 あけぼの学園

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容及び改善目標
環境・体制整備	①	利用定員指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			訓練室があり動きのある活動が十分に行えます。	
	②	職員の配置数は適切であるか		○		児童デイと放課後等デイの利用時間の調整	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○			体格に合わせたベットやおむつ交換などできる範囲で整備します。
業務改善	④	業務改善をすすめるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			職員で支援を振り返り必要に応じて業務改善を行っています。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○			評価表を今後活用し業務改善につなげていきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開しています。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		今後実施を検討していきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修会への参加及び参加職員による報告を行っています	リモートでの参加が増えたため環境を整えていきます。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			6カ月毎に個別支援計画を見直し、子ども・保護者の意見要望を聞き修正しています	
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○		標準化されたアセスメントツールは試用していない。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか			○		立案をチームで行えるようにします。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			動と静のプログラムを取り入れ工夫しています。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて課題を決め細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇には様々な体験ができるよう支援をしています。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別・集団活動は体調に合わせて提供できるよう準備、計画しています。	
	⑮	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			開始前に活動内容・支援の方法・役割分担について確認しています。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点等を共有しているか	○			振り返りを実施し共通理解を図っています。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとること徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			ケース記録に記載して、改善につなげています。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			年2回モニタリングを実施しています。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援をおこなっているか		○		音楽療法を取り入れています。	ガイドラインを見直し業務に反映していきます。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最も			○		サービス担当者会議は実施されていない。今後の検討課題です。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携		さわしい者が参画しているか				
	⑳	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換・子どもの下校時刻の確認等)・連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			担任教諭と送迎時に情報交換・連絡調整を行っています。学校からのお知らせもメールで受信しています。
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		直接は行っていないが、母親をとおし行っている。カンファレンスが行われる時は調整して参加できるようにします。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、定子ども園、児童発達支援事業所等へ移る場合、それまでの支援内容等の情報提供する等しているか	○			必要に応じて情報交換を行っています。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供等しているか		○		指導記録を保管しているので相談支援専門員から情報提供の問い合わせはありません。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	専門機関との連携の機会がない。今後の課題です。
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	状況を見て長期休みなどを利用して交流できる機会を作っていきます。
	㉖	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参画しているか			○	水戸市自立支援協議会子ども部会とは連携しています。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や送迎時の保護者との会話通し共通理解に努めています。
保護者への説明責任等	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ペアレントトレーニングは実施していません。保護者からの希望に基づき実施します。
	㉙	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に行っています。不明な点については説明します。
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相応に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			連絡帳や電話で相談があった時はすぐに対応できるようにしています。更に適切な相談支援ができる体制を整えていきます。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会は開催していない。保護者同士の連携支援は今後の課題です。
	㉜	子どもや保護者からの苦情につて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			重要事項説明書で保護者に説明し苦情があった場合には適切に対応します。
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	急なお知らせ等は文章にして月予定表や園だよりなどで発信できるようにしていきます。
	㉞	個人情報に十分注意しているか	○			保管場所等に配慮しています。
	㉟	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			利用の際必ず保護者と会話の時間を作っています。
	㊱	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	今年度もコロナ禍のため交流ができなかった。
非常時等の対応	㊲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	ファイリング一覧できるようにしています。保護者に周知できていないので今後検討します。
	㊳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			消防訓練・地震を想定した訓練を定期的実施しています。重症児のための非常食の工夫と備蓄が課題です。
	㊴	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			毎年職員チェックリストを実施しています。
	㊵	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で	○			事前に保護者に説明し同意書を交わしています。個別支援計画書・ケース記録

	放課後等デイサービス計画に記載しているか			に記載しています。
④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		保護者から情報を受け指示書に基づく対応を調理師と話し合っています。
④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット事故が起こった場合報告書を作成し職員間で共有します。



